

第17号

群大病院 地域連携だより

病院の理念

大学病院としての使命を全うし、
国民の健康と生活を守る。

基本方針

安全・納得・信頼の医療を提供する。
次代を担う人間性豊かな医療人を育成する。
明日の医療を創造し、国際社会に貢献する。
医療連携を推進し、地域医療再生の拠点となる。

認知症疾患医療センター，肝疾患センターのご紹介

患者支援センター 副センター長 大山 良雄



当院には、専門診療科、中央診療施設に加えまして、さまざまな診療支援部門があります。今回は、診療支援部門の中から、認知症疾患医療センター、肝疾患センターをご紹介します。

群馬県には、認知症の早期発見・診療体制の充実、医療と介護の連携強化、専門医療相談の充実を図ることを目的に、10ヶ所の「認知症疾患医療センター」が設置されています。当院は、平成22年9月1日より、群馬県中核型認知症疾患医療センターの指定を受け、センターを開設しています。中核型センターの役割として、①受診前の医療相談、②専門医療機関の案内、③認知症の原因診断、④診断に基づいた治療や初期対応、⑤研修会の開催、⑥地域拠点型センターとの連携と支援、などが挙げられます。認知症の詳しい検査を勧めたい患者さんがいらっしゃいましたら、認知症疾患医療センターのご利用をお勧めください。

当院の認知症疾患医療センターの直通電話は、027-220-8047(受付時間は平日の9:00～15:00です。相談費用は無料です。)になります。

また、肝疾患診療体制の確保と診療の質の向上を図るため、地域医療機関等と密接な診療連携体制を構築し、良質かつ適切な医療を提供することを目的として、肝疾患センターが設置されています。肝疾患センターの役割として、①肝疾患に係る一般的な医療情報の提供、②県内の肝疾患に関する専門医療機関等に関する情報の収集と提供、③医療従事者を対象とした研修会や地域住民を対象にした講演会の開催、④肝疾患に関する相談支援に関する業務、⑤専門医療機関等との協議の場の設定、などが挙げられます。当院の肝疾患センターの直通電話は、027-220-8179(受付時間は平日の9:00～17:00です。相談費用は無料です。)になります。肝疾患センターのホームページ(<http://kanzo.dept.showa.gunma-u.ac.jp/>)には、県内の専門医療機関のご紹介や、B型肝炎やC型肝炎の地域連携シート、かかりつけ医と専門医療機関との連携をすすめる群馬肝炎診療ネットワークのご紹介などが掲載されていますので、ぜひ、ご覧ください。

もちろん、患者支援センターも、診療支援部門に属します。患者支援センターには、①地域医療連携、②入退院センター、③転・退院支援、福祉相談、④がん相談支援センター、の4つの部門があります。がん相談支援センターが担当するがん相談に関しましては、当院へ通院されている患者さんに限らず、どなたからのご相談でもお受けしています。がん相談支援センターに関する問い合わせ先は、027-220-7858、または、027-220-8547(受付時間は平日の8:30～17:00です。相談費用は無料です。)になります。

医療の高度化や社会の更なる高齢化(表1)により、ますます患者さんを支援する部門の役割が重要になります。特に、厚生労働省が推進している地域包括ケアシステムにおいて中心的役割を担うかかりつけ医の先生方との医療連携は、とても大切です。群大病院との地域医療連携につきまして、ぜひご意見をお聞かせください。何卒、よろしくお願い申し上げます。

(表1) 今後の高齢者人口の推移

	2012年	2015年	2025年	2055年
65歳以上人口 (割合)	3,058万人 (24.0%)	3,395万人 (26.8%)	3,657万人 (30.3%)	3,626万人 (39.4%)
75歳以上人口 (割合)	1,511万人 (11.8%)	1,646万人 (13.0%)	2,179万人 (18.1%)	2,401万人 (26.1%)
認知症高齢者の日常 生活自立度Ⅱ以上	(2010年) 280万	345万人	470万人	

65歳以上の高齢者数は、2025年には3,657万人となり、2042年にはピークを迎える予測(3,878万人)。また、75歳以上の高齢者の全人口に占める割合は増加し、2055年には、25%を超える見込みである。

群馬大学医学部附属病院
患者支援センター (連携担当)

患者支援センターホームページ

〒371-8511 前橋市昭和町三丁目 39 番 15 号

電話 027-220-7733

FAX 027-220-7777

<http://kanjasien.dept.showa.gunma-u.ac.jp/>

〔 開 催 報 告 〕

＊群馬県がん診療連携拠点病院地域懇話会・市民講座

6月29日(土)に群馬会館を会場として、群馬県におけるがん対策推進を目的に、患者さん及びその家族、医療関係者、行政担当者等が交流や意見交換を行う市民講座を開催しました。

今年度は胃がんをテーマとして、埼玉医科大学総合医療センター教授・持木彫人先生より「最先端の胃癌治療」と題して教育講演を行い、その後、北里大学医学部公衆衛生学准教授・和田耕治先生より「働きながら治療を続けるために～患者さんにできること、職場にできること～」というテーマで、患者さんの就労の問題について特別講演が行われました。

当日は160名もの方々にご参加いただきました。また、例年より男性の参加者が多かったのが今回の特徴でもあり、「具体的な事例の説明が豊富で、大変勉強になった」「がんについて、諦めず前向きに治療を受けていきたい」という熱心な声が多く聞かれたほか、「患者さんが職場にいることの大変さを知った。これを機に職場の支援体制を築いていきたい」という患者さん以外に聴講された方々の感想も寄せられました。



＊第4回地域医療連携施設交流会

7月18日(木)に前橋市商工会議所にて、現在までに当院との間に連携施設として登録いただいた地域医療機関の関係者をお招きして、前方・後方連携体制をより強固なものとし、相互理解をさらに深めることを目的として、院内外から180名もの参加をいただき、今年で第4回目となる地域医療連携施設交流会を開催しました。

交流会Ⅰ部では、野島病院長の挨拶に続き、群馬県医師会、前橋市医師会からそれぞれ挨拶を頂戴し、群馬県を代表する医療機関として急性期医療を担い、回復期・在宅へと切れ目のない医療を推進してほしいとのコメントをいただきました。

その後、当院で今年度より着任した新任教授及び看護部長から、挨拶及び抱負が語られました。また、当院の取組の紹介として、各種データに基づいた患者支援センター活動報告のほか、当院内に設置されている重粒子線医学センターの活動報告、がん地域連携パスについて当院医師より情報提供が行われ、前橋市医師会の下田理事から、当院の診療体制に関して数点質問をいただきました。

引き続き交流会Ⅱ部では、来賓の先生方及び当院職員の紹介を行った後、歓談の時間があり、当院が重粒子線治療以外に取り組んでいる先進医療のうち3項目の紹介を行い、盛況のうちに会を終えました。



がん制圧チャリティウォークイベント リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013ぐんまに参加しました

群馬大学医学部附属病院「なごみサロン」では、日頃サロンに参加している約25名みなさんが、準備から力を注ぎ、当日も大活躍でした。病院関係者も一緒に参加しました！

なごみサロン参加メッセージ

「私達は群大のなごみサロンで出逢った仲間たちです。皆様々な癌と闘いながら、前向きに生きようと努めています。癌に限らず病気と闘うすべての人達の希望の光となるようなRFLにしたいと思います。

「やまいだれ 皆んなで話そう なごみサロン！！」



＜いのちつなぐ、リレーウォーク＞
サバイバーズフラッグを持って歩きました



＜群大病院の職員と一緒にのテント＞
リラクゼーションマッサージを受け交流
もはかれました



＜群大病院リレーウォーク＞
病院長も看護部長もみんな一緒に、歩きました

＜なごみサロン参加者のメッセージ＞

思いきり楽しくRFLに参加できました。皆さん有難う。 Tさん 男性

数多くの関係各位の御協力御支援に感謝感謝!!にぎやかにそして楽しくイベントを過ごしました。ありがとう。 Kさん

2日目の朝・・・ようやく間に合いました。皆様の笑顔にあえてきれいなルミナリエの様子もうかがえました。感謝です。 Aさん 女性

参加できて本当に嬉しかったです。心がひとつになって温かい気持ちになりました。 Bさん 女性

＜病院参加者からのメッセージ＞

一人ではこんなに歩き続けられないけれど、みんなと一緒に歩くことができる。ひとりじゃない。がんと闘ってこういうことなんだな。と感じました。 Oさん

みんなと歩いていると今ここにいること、今生きていることを実感しました。改めて生きるっていいね。すごいね。生きていることに感謝です。 Tさん

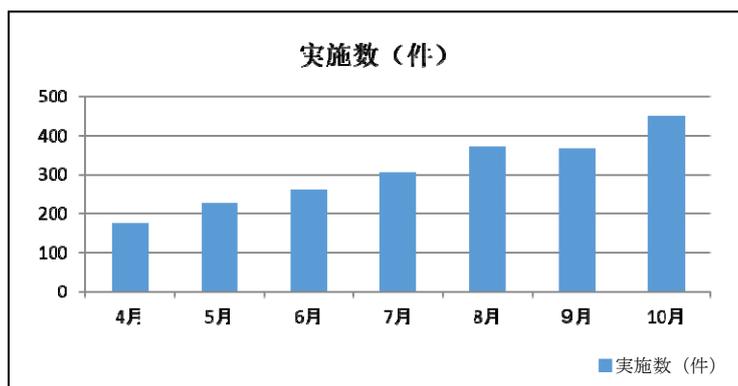


入退院センターの運営報告（2013 年 10 月末）

対応診療科

第 3 内科, 婦人科, 泌尿器科, 消化器外科 1・2,
呼吸器外科 1・2, 循環器外科 2, 放射線科,
核医学科, 重粒子線医学センター,
歯科口腔外科, 耳鼻咽喉科,
乳腺内分泌外科 1・2, 小児外科 1, 脳神経外科

* 10 月は予定入院患者の 49.3% の対応を行っています。これからも順次対応診療科を増やしていく予定です。



～重粒子線医学センターからのお知らせ～

現在群馬大学医学部附属病院で適応になっている疾患は以下のとおりです。

- ・前立腺がん・頭頸部腫瘍・肝細胞がん・非小細胞肺癌（Ⅰ期）・直腸がん術後の再発
- ・骨軟部腫瘍・小児骨軟部腫瘍・孤立性リンパ節再発・頭蓋底腫瘍
- ・去勢抵抗性前立腺がん
- ・非小細胞肺癌（Ⅲ期）
- ・局所進行子宮頸がん
- ・局所進行膵がん

今年度から開始のプロトコルです。

今年度、群馬大学の重粒子線治療に関するホームページのリニューアルを行いました。

URL は <http://heavy-ion.showa.gunma-u.ac.jp/> もしくは、「群馬大学 重粒子」で検索してください。

重粒子線医学センター外来の初診予約は**完全予約制**となっておりますので、医療機関より FAX にてお申し込み下さい。診療情報提供書の宛先は「重粒子線医学センター外来」でお願いします。

～アスベスト外来・中皮腫外来のご案内～

アスベスト外来は呼吸器・アレルギー内科（一内）、中皮腫外来は呼吸器外科（一外）が担当しております。毎週金曜日の午後となっております。**完全予約制**ですので、ご紹介いただく場合は事前に**電話で予約**をお願いします。

なお、アスベスト外来・中皮腫外来につきましては、診療情報提供書をお持ちであれば患者さんからの直接のお電話でもご予約いただけます。

連絡先 医療サービス課（アスベスト・中皮腫外来担当）

TEL 027-220-7827

予約受付時間 平日 8:30～15:00

（土・日・祝祭日・年末年始除く）